

## 浅井圓道先生略年譜

昭和二年二月一八日

東京都大田区洗足池畔に浅井圓照の長男として生まれる。幼名立治。

昭和一四年三月

長崎市磨屋小学校卒業。

昭和一六年五月

浅井圓照、長崎長照寺晋山、一家入寺。

昭和一七年六月

浅井圓照について得度。立治(りゅうじ)を圓道(えんどう)と改名。

昭和一八年三月

長崎市海星中学四年終了。

昭和二〇年三月

佐賀高等学校卒業。

昭和二〇年七月

徴兵検査。

昭和二〇年八月九日

長崎にて原子爆弾に被爆、負傷。

昭和二四年三月

東京大学文学部印度哲学梵文学科卒業。

昭和二四年四月

身延山専門学校助教(昭和二七年三月まで)。H・ケルンの法華經を読む。

昭和二六年三月

東京大学大学院修士課程修了。

昭和二七年一月二四日

福岡県浮羽本仏寺住職佐野前光長女靖子と結婚。

昭和二七年一二月

名古屋中部社会事業短期大学助教(昭和二九年三月まで)。

昭和二九年四月

立正大学仏教学部講師。

昭和三〇年一二月三日

長女由子誕生。

昭和三十一年一月三十一日

長男圓誓誕生。

昭和三十三年四月

立正大学池上學寮寮監（昭和三十三年三月まで）。

昭和三十三年四月

立正大学仏教学部助教授。

昭和三十三年一月八日

次男晶誕生。

昭和四一年四月

立正大学短期大学部教授（昭和四七年三月まで）。

昭和四五年四月

立正大学学生部長（昭和四六年三月まで）。

昭和四五年六月二十五日

『上古日本天台本門思想史』により文学博士（立正大学）。

昭和四七年四月

立正大学仏教学部教授・大学院修士課程教授（平成九年三月まで）。

昭和四八年一月九日

『上古日本天台本門思想史』により望月學術賞受賞。

昭和五〇年二月

日蓮宗僧階論文審査委員。

昭和五〇年一月二十九日

日蓮宗権僧正に叙任。

昭和五二年四月一日

立正大学日蓮教学研究所副所長。

昭和五五年四月

立正大学仏教学部宗学科主任（昭和五八年三月まで）。

昭和五六年五月二十四日

長崎県長照寺住職。

昭和五八年四月一日

立正大学日蓮教学研究所長。

昭和五八年四月一日

日本仏教学会理事。

日本印度学仏教学会評議員。

大法輪石原育英会理事。

昭和六〇年四月一日

立正大学大学院仏教学専攻主任、博士課程教授（平成九年三月まで）。

日蓮宗勸学院講学職。

昭和六二年六月一二日

日蓮宗僧正に叙任。

平成元年四月

日蓮宗勸学院勸学職。

平成五年四月一日

日蓮聖人遺文辞典刊行会編集委員長（平成九年三月まで）。

平成九年三月三一日

立正大学定年退職。

平成九年四月一日

日蓮宗勸学院院長就任。

立正大学名誉教授。

立正大学日蓮教学研究所顧問。

立正大学大学院文学研究科講師（平成一四年三月まで）。

平成一〇年四月一日

身延山大学学長（平成一三年三月まで）。

平成一一年四月一日

身延山大学教授。

平成一三年一月一五日

日蓮宗権大僧正に叙任。

平成一四年三月三一日

身延山大学退職。

平成一六年九月八日

遷化。

平成一六年九月一日

密葬儀。

淺井圓道先生 年譜・著述論文目錄

平成二六年一月二四日

本葬儀。